

会議録

会議の名称	第5回加東市健康増進計画等策定委員会
開催日時	令和元年10月29日(火) 13時30分から15時10分まで
開催場所	加東市役所2階 保健センター 健康教育室1
<p>議長の氏名 (岡本 希)</p> <p>出席委員の氏名</p> <p>藤井信一 森裏律子 藤木宗夫 山本貞江 古田照代</p> <p>近澤孝則 増田一貴 浅田恵美 岡本 希 林山晃子 藤本しげる</p> <p>欠席委員の氏名</p> <p>坂本泰三 武中千鶴子</p>	
説明のため出席した者の職氏名	
<p>出席した事務局職員の氏名及びその職名</p> <p>健康福祉部長 藤井 康平</p> <p>健康課 課長 細川公代 副課長 高井玲子</p> <p>係長 下崎ユカ 係長 櫛原ひろみ</p>	
<p>1 開会</p> <p>定足数の確認を行い、本策定委員会が成立することを報告</p> <p>第5回策定委員会の議事録署名人を、浅田委員と増田委員に決定</p> <p>2 委員長あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 加東市健康増進計画(素案)について</p> <p>事務局から素案の説明を行い、質疑応答を行った。</p> <p>(2) その他</p> <p>事務局から今後の予定等についての説明を行った。</p> <p>【質疑応答】</p> <p>加東市健康増進計画(案)第1章から第3章の説明について</p> <p>議 長：35ページと37ページに分野別の評価が、ABCDEで判定しており、わかりやすいと思った。子育て関係は、H25年からH30年への変化で、ABが割と多かった一方、35ページのがん検診の受診率や、生活習慣病の重症化予防あたりがCとDが割と多いと思ったので、第3期の計画ではこのあたりの対策を重要視していく方向性なのか。</p>	

事務局：4章でも説明させていただきますが、CやDの判定が多かった部分は取組を強化していきたいと考えています。

委員：この34ページの現行計画のふりかえりの表で、達成・改善と改善傾向が、悪化傾向、悪化というのが、悪化傾向のほうより上回っていますって書いてありますが、これは単純に足し算したら改善、改善傾向40%を超えており、悪化傾向と悪化が40%を割っている。改善傾向のほうを上回っているということでもいいのか。

事務局：両方を足すと、達成・改善と改善傾向のほうが悪化傾向と悪化を上回っているという意味ですが、わかりにくければ、全体を通して見ると改善傾向となっていますというような表現に変えたほうがわかりやすいのであればそのように変えさせていただきます。

委員：変えていただくほうがいい。このままでも読み取れますか。

事務局：Dの悪化傾向が一番パーセンテージとしては多かったのですが、Aの目標達成・改善と、Bの改善傾向を足したり、あとCの現状維持というのも考えれば大きくは悪くなっている状況ではないのではないかとということで、全体を通して見ると比較的改善の様相が強かったというような表現でよければ、悪化傾向とかという表現はなくして改善傾向にありますとかという表現したほうがわかりやすいでしょうか。

委員：そのほうがいいとは思いますが。

事務局：はい。では、そこの表現については変えさせていただきます。ありがとうございます。

議長：ほか、お気づきの点、御質問などございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

加東市健康増進計画（案）第4章の説明について

委員：目標値の算出根拠という項目、この別の資料に書いてあり枠がありますが、これは個々に算出根拠は違うのですか。

事務局：本日お配りしております資料のほうを見ていただきますと、H25年とH30年の実績と、令和6年の目標値ということになっています。本日、準備ができたならよかったのですが、その算出根拠の中で各分野の担当が実際にH25年からH30年の実績を見たときに、目標値と大きくかけ離れて国、県の目標を単純に入れてもこの5年で達成が難しいと思うような内容があり、そういったものについては、前回の目標で設定した1割増の1.1倍を目標にしました。それからH25年からH30年度の実績の上昇率を見ての割合で目標値を上げられるものについて令和6年の目標値を

決めているものもあります。また、健康日本 21 や、健やか親子 21 のほうでの目標値というものがあまして、特に重要な項目については、こちらの目標値を設定しているものもあります。

委員：基本的には1割増ぐらいを目標にということなのですか。

事務局：国や県の掲げる目標達成が難しい場合は、基本的には1割を一つの目安として入れているものが多くあります。内容によって、国や県より上回っているものについては、目標値を微増とか現状維持で入れているものもあります。

委員：歯科は、もう少し目標数値を高くしてもいいのではないかと思う。H25年からH30年の間の上昇率を加味して、もう少し高い数値でもいいのではないかと思ったのと、目標値のところ小数点以下まで入れる必要があるのか。90なら90とか、5単位ぐらいの数値であったほうが一般的にはわかりやすいと思う。

事務局：単純に1.1倍ということで四捨五入して出している部分もあり、5の刻みのほうがわかりやすいということであれば、そうさせていただきます。ただ、ゼロに近づいてくるようなものが目標になる場合は難しくなりますが、もう一度、見やすい数値の目標ということで変えるように検討します。

委員：あともう一点ですが、この評価指標の令和6年度の目標値に対して、減少させたいものと増加させたいものが混在してあり、わかりにくいのではないかと思う。例えば48ページの評価指標は、真ん中のBMIの割合の減少となっているが、その前後の項目は増加を目標としてある。これは表現を変えて、BMI 25以下の人の増加というようにしたら、全てがH30年の目標実績値よりも全部数字が大きくなってわかりやすいのではないか。

事務局：確かに、上がったたり下がったりで見にくいと思いますが、例えば、メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少や、脂質異常症の人の減少とかというところが、国の健康日本21などの指標に合わせているため減少としています。

委員：単純に見にくいだけです。

事務局：国の指標と合わせているほうが比較する場合にわかりやすいので、できたら合わせているほうが比較しやすいのかと思っています。市の総合計画では、上げる目標なのか下げる目標なのかを矢印を入れてあります。並べる順番について、下げたほうがいいような指標で変えにくいものにつきましては、一番下に持ってくるなどして検討します。

議長：計画の概要版は、この評価指標、行政の取り組み、取り組みの内容、担当課があって、実績と令和6年の目標値のあたりが載るのですか。それなら、先ほど委員が指摘されたようなあげる目標か、下げる目標かが混在したら市民にわかるのかと思っ

たのですが。

事務局：概要版につきましては、前回のこの概要版のページ数と同じような形で、A4、6枚分という形になっております。

議長：目標値とかまでは記載しないか。

事務局：目標値とかはなくて、市民の方にわかりやすいように、合言葉を入れてみんなでこれを心がけていこうということや、市民の方に取り組んでいただきたい内容とか、市がこういう取り組みを進めますといった項目を抜粋し、絵とか写真も加えるような形でのつくりと思っております。概要版については、第6回策定委員会ときにもう一度この計画の確定とともに見ていただいて御意見をいただければと思っております。

議長：その概要版にこれを入れたらっていうのは言うチャンスは今ですか。もうないですか。もしそうでしたら今委員の皆さんからも意見をお聞きしようかと思いますが。

事務局：第6回策定委員会では、最終の修正等の意見をいただくということになりますので、今御意見をいただければ参考にさせていただきます。

現計画の概要版では、健康づくりも自分で決めて自主的にやっていただきたいという健康マイプランや、合言葉と施策体系と計画の推進の仕方といったような内容を入れていました。

議長：ほかに御意見ありましたらお願いします。

委員：市民の方にお配りするものは、余り細かい数字とかよりも絵とかがあって、余り字とかが多くないほうがいいのかという感じは個人的には思います。

議長：ありがとうございます。ほかの御意見や御質問ありましたらお願いします。

委員：68 ページの上段の指標が多分実績値 2%から 30%という数字は、20%でないのか。2%から 30%、ちょっと上がり過ぎなのではないか。あと、62 ページでフレイルという言葉が出てくるが、用語解説を設けられたほうが良いと思う。

事務局：68 ページの野菜の摂取量のところですが、県計画のほうでも 30 という目標でして、まだまだ達成できていない状況です。アンケートでのこの聞き方に説明が要ったと思いますが、野菜というのは、必ずしもおかずの副菜だけに含まれているということではなく、主菜に入っているものも多く、ほかにも主食であれば、カレーライスやどんぶりなどといったものにも野菜というのは含まれておりますので、そのようなところに注釈をつけることによって市民の方が回答していただくときに、それを加えての 1 皿分のカウントをすることがわかるので、次のアンケートのときにはそういうような回答がしていただけることを想定して 30 という目標値に設定

しました。

それと、用語解説の件につきましては、最近では高齢期におけるフレイルやサルコペニアというような言葉などの新しい用語がたくさん出ていますので、用語解説については、ページ下段に掲載か、また別でまとめたの掲載にするかというような方向で掲載をしたいと思っております。

議長：対応よろしく願いいたします。

74 ページのアルコールのところですが、1日 20 グラムの純アルコールに換算したら大体どのくらいが一般の方はわかりますか。ビールで言うと 350 ミリリットルの缶 1.5 本ぐらいなのですが、イラストなど記載をされてはいかがでしょうか。

事務局：概要版で市民にお配りするときは目安を入れる予定としていまして、今の計画には載せていて、次期計画には入れてなかったの、入れることにしたいと思います。この 1日 20 グラムの純アルコールについては現計画の策定委員会でもこれがわかるかわからないかということで意見が分かれたところだということで、その当時の担当から聞いております。市民の方にはわかりにくいといったようなところもありますが、合言葉と同様に掲載してすることでよろしいでしょうか。

議長：はい。

あと、81 ページの下のほう、災害時に備えて非常食を準備している人の割合で、令和 6 年度目標値が 28.4%のところでは違和感がありまして、先ほどの委員の意見もあったように数字を丸めてもと思いましたが、また、近年これだけ災害が多くなっているのに、実績値が 23.7%です。もう少し目標値を上げてもいいのではないかと思ったのですが、いかがでしょうか。

委員：個人的には 100%であってもいいと思うが。

議長：そうですね。生死にかかわることなので、私もそう思いました。

事務局：今回 D 判定が多く、目標設定を単純に国や県の目標設定に則り、高い目標に向けて頑張っている割には全然判定評価が悪い場合もあり、担当のほうも、やっても上がってこないこともあるのだというのがあって、現実的な目標設定ということを加味して目標設定をしたというのがあります。この非常食はさすがに 1.1 倍でなく、1.2 倍の設定になっていますが、重要なことでもありますので、少し目標値は見直させていただきます。

議長：ほか、いかがでしょうか。

委員：先ほど他の委員が言われた説明が、少し違うように思うのですが。野菜の摂取量の 30 年度の実績が 2%で、どうして令和 6 年が 30%になるのかという質問の 68 ページの上です。普通に考えたら、2%がどうして令和 6 年になったら 30%になる

のかという意味で、2%は20%の間違いではないのですかと言われたと思うのですが。その辺が質問と答えていただいた内容がわかりづらく、男性は特にこの辺の数字がわかりにくいのではないかと思います。

事務局：野菜を1日350グラム摂取されている方の割合について、今が2%ってことです。

委員：2%ですか。

議長：数字は間違いではないのですか。

事務局：間違いではないです。

委員：これは、このサラダとこの5皿と70グラム食べてらっしゃる方のパーセントですか。

事務局：いえ、5皿以上。1皿が70グラムという目安を5皿以上食べているっていう方が2%しかないということなのです。

委員：これはパーセントで合っているということですか。

事務局：合っています。ただ、質問の仕方であったりとか、あと説明っていうところがアンケートをとる際にはもう少し必要であったかと思えます。野菜を副菜のみで5皿食べるっていうことはなかなかハードルが高いように思われるんですが、350グラムというのはそういう5皿の副菜だけの食べ方ではなくて、主食の御飯に入るときや、主菜で入るときもあります。そのような野菜を多く使う主食や主菜などでは、2皿というふうにカウントもしていいということです。アンケート時にそのような補足をつけることで、もう少し350グラムの野菜摂取をされている方の割合が増えるのではないかと期待を持って目標値を30%に設定しました。

委員：それは1桁グラムですか。

事務局：計画のアンケート時にこの注釈を入れていました。目安量として350グラムは1皿70グラムを5皿ということで、副菜のおよそ1皿分が70グラムという注釈を入れていたのが、かえってそれが副菜の小皿で食べる野菜のみで回答されたのではないかとこのところから、先ほどの質問の聞き方がといったところがそのあたりではなかったのかと事務局側が考えているところです。実際、市民に話を伺うと、家で野菜を作られていて、食べているという回答をいただく割には2%ということで、余りにも低く驚きました。単純に小皿ではない形で野菜をとっているものも含めたような形の聞き方をきちんとアンケートではしなければいけなかったのではと、今回の質問の内容がもう少し答えていただきやすい質問の仕方にしたほうがよかったのではないかと、それを今後は踏まえて次回は30%を目標としています。

委員：野菜の平均摂取量、私もサプリメントを飲んでいますが、ああいうのはどうなの

でしょうかね。野菜を摂るということになるか。

事務局：野菜摂取ということは実際の野菜を噛んで食べるというような設定にしています。中には、先ほど申されたようなサプリメントや、あと最近多いのが青汁とか野菜ジュースを飲んでいるということが野菜を摂っているというようにみなされる場合もありますが、今回は、野菜を食べるほうでの野菜の摂取 350 グラムという設定をしております。

議長：57 ページの評価指標のところ委員のほうから幾つか意見がでましたが、母子保健分野について何か意見はありませんか。あと、84 ページのみんなの合言葉について適切かどうかということです。「かかりつけ医をもち自分や家族の健康管理 みんなで守ろう！地域医療」という見出しがあります。これでオーケーかどうか、御意見を伺いたいと思います。

委員：合言葉のほうですけど、最初の文章だけでいいのではないかと思うのですが、みんなで守ろう地域医療っていうのは、これって市民の皆さんが守ることじゃないですよ。恐らく行政や私たちみたいな医療担当者がやるべきことで、市民の方が直接関与することではないかと思うのですが。健康管理までいいのではないかと思います。

事務局：そこを守ろうというほどもないのですが、適正受診などを市民の方にもしていただく中で、医療の体制というところが理解いただけたらいいのと思っていたのですが、入れなくてもいいのか非常に悩みましたので、もしなしでよければ「かかりつけ医をもち自分や家族の健康管理」だけにさせていただきます。

議長：ほかにはないでしょうか。

委員：57 ページの指標の名前ですが、上から 3 つ目の育児について相談相手のいる母親の割合、今の時代は母親だけないと思いますし、親の割合でもいいのではないかと思います。

議長：それは、国の指標がそうなのですか。保護者の割合であったり、親の割合っていうほうがいいように思いました。

事務局：乳幼児健診の間診項目で、母親ということで聞いているのではないかと思います。父子家庭や、祖母が育てている家庭もありますので、そちらのほうについては修正をしたいと思います。

議長：今の点は確認していただいて、親という表現などに修正をお願いします。

事務局：修正します。ただ、下から 2 項目めにあるゆったりとした気分で子どもと過ごす時間がある母親の割合というのがあるのですが、それは健やか親子 21 の指標が母親の割合となっていますので、そのような場合は内容を合わせておいた方が比較

しやすいため、同じ表記で残させていただくことがあるかもしれませんが、よろしいでしょうか。

議長：はい。

事務局：57 ページの子育て何でも相談利用者数を評価指標にしているこの事業は、月に1回開催し、子どもの身体計測や育児相談に自由に来ることができる教室です。現在、出生数も前後していて、それほど増加の見込みがない中で、この利用者数だけを指標にするかどうかということを検討しています。主に3歳未満の子どもを持つ保護者が利用されることが多いのですが、こういう相談場所があるということがわかり、必要なときに利用できることを考えると、1歳までの乳児のどこかの機会を見て、子育て何でも相談を知っている保護者の割合として掲載したいと考えていますが、御意見をお願いいたします。

議長：それは国の指標がそのようになっているのですか。

事務局：これは、国の指標のほうにはないもので、加東市独自のものになっております。

議長：今現在の相談利用者数は、1歳までの子を持つ親の相談が多いのですか。

事務局：3歳以降になれば保育所等にも入られますので、利用数も減ってきます。育児で悩まれることや、計測に来られるという方は1歳未満の保護者が多い現状ではあります。

議長：1歳までの発育の相談が多いということか。一部の報道において、虐待で亡くなっている子供さんの年齢は、もう少し大きいイメージがある。その1歳までの保護者を指標の分母にすることは重要と思うが、2歳、3歳の子どもの保護者についてはどうか。

事務局：まず子どもが1歳までにこの事業を知っていただいて、一度利用された方は、次に相談等が必要となったときに来ていただきやすくなります。

委員：利用人数の指標でなく、そういう相談窓口があるということを認知されてるかどうかという指標でいいのではないかと思います。だから、来られた人数が多かったからといっていいものじゃない。そういう相談窓口があるっていうことを認知しているかの指数であらわしたらいかがでしょう。

事務局：今の時点ではアンケートのほうではとっていないのですが、今後そのような指標にするよう検討していきます。

議長：母子保健分野はA評価が多く、今後も引き続き頑張っていきたいと思います。幾つか委員の皆様から御意見が出ましたので、それを検討していただければと思います。加東市健康増進計画については、今委員の皆様から出していただいた御意見を踏まえまして、修正を用意していただきます。修正後に私と副委員長の坂本先生

とで確認をさせていただきますして、議会説明やパブリックコメントに向けた調整をしていくという手順になりますが、それでよろしいでしょうか。賛成の方は挙手をお願いいたします。

〔賛成者挙手〕

議長：ありがとうございます。では、その予定で進めるように事務局の方、どうぞよろしくをお願いいたします。

そのほか、全体を通しまして御意見はございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長：質疑はないようですので、議事を終了させていただきます。

午後3時10分 閉会

その他

第6回策定委員会 令和2年1月下旬から2月に予定
本日配付の日程調整表の回答を依頼する。

閉会

委員長閉会の言葉

令和元年12月18日

委員長 岡本 希

署名人 浅田 恵美

署名人 増田 一貴